

# 目標設定シート (2009年度)

## 部局と評価項目・要素

対象部局	商学部
<b>大項目</b>	<b>7 国際交流</b>
<b>中項目</b>	
<b>小項目</b>	7.0.1 国際交流（国内外における教育研究交流）についての方針を明示しているか。
要素	(KG1) 国際化への対応と国際交流の推進に関する基本方針の適切性
<b>小項目</b>	7.0.2 国際交流（国内外における教育研究交流）を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際レベルでの教育研究交流を緊密化させるための措置の適切性 (KG2) 国内外の大学院間の組織的な教育研究交流の状況（院）
<b>小項目</b>	7.0.3 国際教育・協力を適切に行っているか。
要素	(KG1) 国際理解のための教育 (KG2) 国際協力の実践

## ○2009年度からの目標

1. 学生による外国語研修・留学制度利用を促進する。
2. 受け入れ留学生（受け入れ国、人数）を見直し、学部活性化につなげる。
3. 外国人留学生・国連難民高等弁務官推薦制度による入学生の修学状況等のケアを図る。
4. 海外客員教員招聘制度を見直し、教員との国際共同研究の推進、および、教育の拡充につなげる。
5. 教員による海外留学、海外での共同研究の拡大。

## ○指標

1. 留学制度を利用しようとする学生にとってネックであった4単位の諸科目の2単位化。外国語研修・留学制度利用学生数
2. 留学生の受け入れ国数、受け入れ人数（新中期計画による具体的な受け入れ数が確定した上で、それを目標として設定する）。
3. 外国人留学生および国連難民高等弁務官推薦入学制度による入学学生と学部執行部との会合の実施。外国人留学生等の修学状況等についての個別面談の実施。
4. 海外客員教員招聘数。海外客員教員との共同研究・共同論文数の把握。海外客員教員の実施授業数。海外客員教員招聘制度の改善に関する商学部からの要望の提言。
5. 教員の海外留学、共同研究支援制度の改善に関する商学部からの要望の提言。